

2021年度 成果

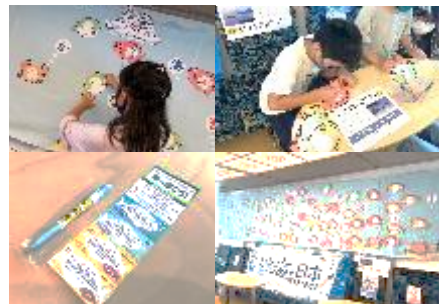
オリジナルイベントでは「笠岡アイランドホッパーズ」を実施し、1泊2日で笠岡諸島の4島に渡り、各島で様々な体験学習を実施した。参加者の子どもたちは、島によって異なる海の世界・文化・歴史・海の幸を五感を通して学び、吸収し、学習の成果をレポートやオリジナル海苔商品として発信した。また、岡山事務局初となるウェブ展開にも挑戦し、「笠岡アイランドホッパーズ」の体験内容を基にした特設サイトを構築。ユーザーは子どもたちが体験した笠岡諸島の旅を追体験できるような構成にし、また、二次利用可能な学習クイズページを設けるなど、サイトを通して県内外のユーザーに笠岡諸島の豊かな海の魅力を広く拡散した。また、オリジナルイベント以外にも、推進パートナーとの連携では、毎年恒例となった「両備グループ」との特別回数券企画を実施。例年の企画内容からブラッシュアップし、海の日に開催された両備フェリーイベントでの連携企画も実施。その他、化粧品会社「ポーラ」と連携した海のコスメポーチ推進P企画等、キッズサポーター事業や海の民話事業との連携など、深度のある様々な連携企画を実施し、プロジェクトを発展させた。



**オリジナルイベント①
笠岡アイランドホッパーズ**
笠岡諸島4島に渡り、各島で異なる海の魅力を体験！



**オリジナルイベント②
特設ウェブサイト構築**
2か月で1.5万PV超！局アプリとも連携し効果的に拡散。



**両備グループとの
推進P連携企画**
恒例の親子バス回数券に加え、海の日イベントでの連携も実施。



**化粧品会社ポーラとの
推進P連携企画**
海プロオリジナルコスメキットを販売。主婦や女性層にも訴求。

2022年度 目標

今までに培ってきたノウハウやネットワークをいかし、定量的な目標達成だけでなく、より質にこだわったイベント実施や動画制作など広報展開を実施する。特に、オリジナルイベントでは、1泊2日で岡山の里海づくりについて学ぶイベントを実施しアプトプットとしてデジタルマンガを作成し、前年に引き続きウェブサイト展開を実施。ウェブサイトは、単に発信するだけにとどまらず、学校教育や家庭教育等で海の学習教育ツールとして広く活用していただけるような二次的な展開を図る。特に、学校教育での二次的展開としては、2022年度から新たに「海プロ岡山連携学校ネットワーク」を構築し、連携校においてデジタルマンガを活用した特別授業等を実施し、学校教育でも広くプロジェクトを発信する。

中長期 目標

実行委員会の組織委員に県内の市町村の他、2022年度から岡山県を新たに加えた。今後は、岡山県をはじめ、県内の自治体と広く連携した公共性の高い取り組みを推し進め、特に、学校教育・家庭教育における当プロジェクトの存在意義を高める。

具体的には、県内の複数の学校を「海プロ岡山連携校」として登録をし、特別授業等での海プロ成果物活用やイベント連携を毎年継続して実施する『学校教育連携モデル』を構築する。初年度となる2022年は、連携校として県内の5校を目標に登録。毎年連携校を増やし展開を拡大することで、県内の多くの子どもたちが学校教育においてプロジェクトに触れる機会を創出し、教育を軸とした海ごころの育成を図る。